

## 第6章 操作パネル・メニュー

### 重要

本章では、プリンター・メニューから使用可能な機能について説明します。

1. アクセス可能なメニューのリスト、および取り付け済みのオプションを確認するには、プリンター構成ページを印刷してください。23ページの『プリンター構成ページの印刷』を参照してください。プリンター構成ページはメニュー・マップとして使用することができます。IBM InfoPrint 20: Quick Reference Card にも、メニュー・マップが記載されています。
2. 本書にリストされているメニューおよびメニュー項目の一部については、特定のオプションを取り付けている場合にのみ操作パネルに表示されますので注意してください。たとえば、イーサネット・メニューはイーサネット・ネットワーク・インターフェース・カードを取り付けてある場合にのみ表示されます。ヨウシメニュー上にリョウメン項目が表示されるのは、両面印刷ユニットを取り付けてある場合のみです。
3. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

次の表は、それぞれのメニューの基本的な機能について説明するとともに、それぞれの詳細について参照できるページをリストしたものです。

使用するメニュー	行う作業	参照ページ
テスト・メニュー	構成ページ、フォント・リスト、およびプリンター・テスト・ページを印刷し、障害追及の目的で16進ダンプを印刷します。	79
リセット・メニュー	プリンターをリセットしてジョブを取り消すか、出荷時設定の省略時値を使用します。	80
ヨウシメニュー	入力トレイ、用紙サイズ、両面印刷オプション、およびその他の用紙取扱いオプションを選択します。	81
カスタムヨウシメニュー	IPDS ジョブ用のカスタム用紙サイズを定義します。	84
コウセイメニュー	プリンターが、紙詰まりやその他のエラー状態を処理する方法を定義します。トナーの濃度、電力節減モード、印刷品質を定義します。	85
MEMCONFIG メニュー	プリンターがポートを切り替えたときに PCL5e および PostScript 情報を保管するかどうかを定義します。	88
パラレル・メニュー	プリンターが、パラレル・ポートを介して送信されたジョブ（データ・ストリーム、双方向通信、およびタイムアウト設定値）を処理する方法を定義します。	89
PCL メニュー	プリンターが PCL5e ジョブを処理する方法を定義します。これにはコピー枚数、ページ・サイズ、ページ方向、ページ当り行数、フォント・ソース、および省略時フォントが含まれます。	90

使用するメニュー	行う作業	参照ページ
PS メニュー	プリンターが PostScript ジョブを処理する方法を定義します。これにはコピー枚数およびエラー・メッセージを印刷するかどうかが含まれます。	94
IPDS メニュー	プリンターが IPDS ジョブを処理する方法を定義します。	96
トークンリング・メニュー	トークンリング接続機構のデータ・ストリーム、タイムアウト、およびネットワーク・アドレス値を定義します。	102
イーサネット・メニュー	イーサネット接続機構のデータ・ストリーム、タイムアウト、およびネットワーク・アドレス値を定義します。	106
COAX SCS メニュー	プリンターが同軸接続機構を介して送信された SCS ジョブを処理する方法を定義します。	109
TWINAX SCS メニュー	プリンターが平衡型接続機構を介して送信された SCS ジョブを処理する方法を定義します。	113
COAX セッテイメニュー	同軸接続機構を構成します。	116
TWINAX セッテイメニュー	平衡型接続機構を構成します。	118
COAX DSC/DSE メニュー	プリンターが同軸接続機構を介して送信された DSC/DSE ジョブを処理する方法を定義します。	120
マシンジョウホウメニュー	ページ・カウント、エラー・ログ、およびトナーとフューザーの使用量カウンターを表示します。	122
ゲンゴメニュー	操作パネルのメッセージおよびメニューを表示するためにプリンターが使用する言語を定義します。	123

## テスト・メニュー

テスト・メニューは、プリンターに関する基本的な情報を表示し、基本的な障害追及作業を実行する場合に使用します。

注:

1. 選択したメニュー項目に関連した処置を実行するには、設定キーを押します。
2. 実際に表示されるメニュー項目は、取り付けられているオプションによって異なります。取り付けられているオプションを確認するには、プリンター構成ページを印刷してください。23ページの『プリンター構成ページの印刷』を参照してください。
3. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。
4. テスト・メニュー項目の実行中に、メッセージ WAIT FOR IDLE PRINTER が表示される場合は、インサツカノウ プロンプトが表示されるまで待ち、再試行します。

テスト・メニュー項目	説明
コウセイページ	プリンター構成ページを印刷します。省略時のトレイにレターまたは A4 の用紙がセットされているか確かめます。詳しくは、58ページの『省略時の入力トレイの選択』を参照してください。
PS フォントインサツ	プリンターに導入されている PostScript フォントのリストを印刷します。詳しくは、27ページの『PostScript フォントのリストの印刷』を参照してください。
PCL フォントインサツ	プリンターに導入されている PCL5e フォントのリストを印刷します。詳しくは、27ページの『PCL5e フォントのリストの印刷』を参照してください。
PS デモノインサツ	PostScript デモ・ページを印刷します。
PCL デモノインサツ	PCL デモ・ページを印刷します。
レンゾクテスト	連続テスト・ページを印刷します。テストを停止するには、印刷取消キーを押します。
TR コウセイノインサツ	トークンリング・ネットワーク・インターフェース・カードの構成ページを印刷します。詳しくは、27ページの『トークンリング・ネットワーク・インターフェース・カード構成ページの印刷』を参照してください。
EN コウセイノインサツ	イーサネット・ネットワーク・インターフェース・カードの構成ページを印刷します。詳しくは、26ページの『イーサネット・ネットワーク・インターフェース・カード構成ページの印刷』を参照してください。
IPDS フォントインサツ	プリンターに導入されている IPDS フォントのリストを印刷します。
SCS モジセットノインサツ	SCS コード・ページ (文字セット) を印刷します。
ディスクノフォーマット	オプションのハード・ディスク・ドライブのフォーマットをします。
オンライン HEX インサツ CANCEL HEX PRT	ONLINE HEX PRINT は、障害追及のために 16 進ダンプを印刷します。この項目を選択すると、CANCEL HEX PRT に変わります。ダンプを取り消すには、CANCEL HEX PRT を選択します。

テスト・メニュー項目	説明
CX HEX PRT CANCEL CX PRT	CX HEX PRT は、同軸問題の障害追及のための 16 進ダンプを印刷します。この項目を選択すると、CANCEL CX PRT に変わります。ダンプを取り消すには、CANCEL CX PRT を選択します。
TX HEX PRT CANCEL TX PRT	TX HEX PRT は、平衡型の問題の障害追及のための 16 進ダンプを印刷します。この項目を選択すると、CANCEL TX PRT に変わります。ダンプを取り消すには、CANCEL TX PRT を選択します。

## リセット・メニュー

印刷ジョブを取り消すか、プリンター設定値を出荷時設定の省略時値に復元するには、リセット・メニューを使用します。

注:

1. 選択したメニュー項目に関連した処置を実行するには、設定キーを押します。
2. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

リセット・メニュー項目	説明
プリンターノリセット	現行印刷ジョブを取り消します。
シュッカジノセッテイ	<p>出荷時の省略時値に設定値をリセットします。一部の値はリセットされないの注意してください。これらの値にはゲンゴ、ホジョサイズ、PCL、ホカン、ソウホウコウ、IP ADDRESS、SUBNET MASK、GATEWAY ADDRESS、および MAC ADDRESS が含まれます。</p> <p>注: すべての値をリセットするには、以下のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• A4 用紙グループの場合: 印刷取消キーを同時に押しながら、プリンターの電源を入れます。メッセージ表示域にコールド・リセット A4 が表示されます。</li> <li>• LTR 用紙グループの場合: オンライン・キーを同時に押しながら、プリンターの電源を入れます。メッセージ表示域にコールド・リセット LTR が表示されます。</li> </ul> <p>リセットを行う前にプリンターの構成ページを印刷し、必要に応じて古い設定値を復元できるようにすることをお勧めします。</p>

## ヨウシメニュー

入力トレイ、用紙サイズ、両面印刷または片面印刷、およびその他の用紙取扱いオプションを選択するには、ヨウシメニューを使用します。次の表は、ヨウシメニューから変更可能な設定値を示したものです。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。

注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. 印刷ジョブ内に設定された値 (印刷アプリケーションまたはプリンター・ドライバーによって) は、プリンターで設定された値を上書きします。
3. 実際に表示されるメニュー項目は、取り付けられているオプションによって異なります。取り付けられているオプションを確認するには、プリンター構成ページを印刷してください。詳しくは、23ページの『プリンター構成ページの印刷』を参照してください。
4. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。
5. ヨウシメニュー上で変化する値の例については、58ページの『一般の用紙取扱い作業』を参照してください。

ヨウシメニュー項目	値	説明
ソース	トレイ 1* トレイ 2 トレイ 3 ホジョトレイ	<p>使用する省略時の用紙トレイを選択します。取り付けられているトレイだけがリストに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• トレイ 1 は、標準の 500 枚入力トレイです。これは A4/レター・サイズでも A3/レジャー (11 x 17) サイズでも構いません。</li> <li>• トレイ 2 およびトレイ 3 は、オプションの入力トレイです。追加の 500 枚トレイを 1 つまたは 2 つ、追加の 500 枚トレイを 1 つと 2000 枚入力カドロー、または 2000 枚入力カドローだけを取り付けることができます。それらを取り付けていない場合には、リストに表示されません。追加トレイを 1 つ取り付ける場合は、トレイ 2 です。追加トレイを 2 つ取り付ける場合、中央のトレイはトレイ 2 で、下部のトレイはトレイ 3 です。2000 枚入力カドローは、一番下のトレイである必要があります。</li> <li>• ホジョトレイは、プリンターの前面にあるフリップダウン・トレイです。</li> </ul> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2000 枚入力カドローが取り付けられている場合、これは省略時のトレイです。</li> <li>2. 封筒トレイが取り付けられている場合、それがどの用紙トレイを置き換えているかに応じて、トレイ 1、トレイ 2、またはトレイ 3 として認識されます。</li> </ol>

ヨウシメニュー項目	値	説明
リョウメン	オフ* オン	両面印刷ユニットが取り付けられている場合に、片面に印刷するか、両面に印刷するかを指定します。60ページの『両面印刷または片面印刷をプリンターの省略時値にする』を参照してください。
バイディング	チョウ* タン	両面印刷モードでページを印刷する方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• チョウ - 用紙の長い方の側がバインドされるように印刷します。(縦長の文書の場合は左側でバインド、横長の文書の場合は上側でバインド。)</li> <li>• タン - 用紙の短い方の側がバインドされるように印刷します。(縦長の文書の場合は上側でバインド、横長の文書の場合は左でバインド。)</li> </ul>
トレイ・スイッチ	オン* オフ	現行のトレイが空になった場合に、別の用紙トレイに切り替えるかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン - 現行のトレイが空であるか、ジョブによって指定された用紙サイズが入っていない場合に、正しいサイズの用紙が入った別のトレイをプリンターが自動的に探すことを指定します。検索順序は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- ジョブによって選択されたトレイ、あるいはジョブがトレイを指定していない場合は、プリンターの省略時トレイ</li> <li>- トレイ 3 (取り付けられている場合)</li> <li>- トレイ 2 (取り付けられている場合)</li> <li>- トレイ 1</li> <li>- 補助トレイ</li> </ul> </li> <li>• オフ - 切替えを指定しません。現行トレイにはない用紙サイズがジョブによって指定されると、メッセージが表示されます。</li> </ul> <p>注: トレイ切り替え探索順序からトレイを除外することができます。この表で後述されているヨウシメニュー項目の トレイ 1 ホゴ、トレイ 2 ホゴ、トレイ 3 ホゴ、およびホジョトレイ ホゴの説明を参照してください。</p>
ブランク PG	PRINT* NO PRT	データを含まない片面印刷または両面印刷シートを印刷するかしないかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• PRINT - ブランク・シートを印刷します。</li> <li>• NO PRT - ブランク・シートを印刷しません。</li> </ul>
トレイ・スワップ	オフ* 1<>2 1<>3	トレイの番号指定変更を次のように指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• オフ - トレイの番号指定変更なし</li> <li>• 1&lt;&gt;2 - プリンターに、トレイ 1 をトレイ 2 として、トレイ 2 をトレイ 1 として取り扱うように通知します。このオプションが表示されるのは、2 つのトレイ (3 つではない) が取り付けられているときです。</li> <li>• 1&lt;&gt;3 - プリンターに、トレイ 1 をトレイ 3 として、トレイ 3 をトレイ 1 として取り扱うように通知します。このオプションが表示されるのは、3 つのトレイが取り付けられているときだけです。</li> </ul>

ヨウシメニュー項目	値	説明
シュドウ	オフ* オン	用紙を、補助トレイから手動で送るかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>オフ - 用紙送りは自動で行われ、手動では行われません。</li> <li>オン - 用紙送りは 1 枚ずつ手動で行われます。操作パネルのメッセージで、次の用紙を入れるように指示があります。継続キーを押して、用紙を印刷します。</li> </ul>
PCL ORIENT	P* L	PCL ジョブについて省略時のページ方向を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>P - 縦長 (幅より縦が長い)</li> <li>L - 横長 (縦より幅が大きい)</li> </ul>
ホジョサイズ	LTR-LEF* LTR-SEF リーガル FOLIO 11X17 A4-LEF A4-SEF JB5-LEF JB5-SEF B4 A5 A3 EXEC STATMNT MONARCH はがき COM10 C5 DL UNIV UNI-ENV	補助トレイで使用される用紙または封筒のサイズを定義します。LEF は長エッジ送りを意味します。SEF は短エッジ送りを意味します。補助トレイへの用紙のセットについて詳しくは、33ページの『補助トレイの用紙仕様』および 46ページの『補助トレイへの用紙のセット』を参照してください。
トレイ 1 ホゴ トレイ 2 ホゴ トレイ 3 ホゴ ホジョトレイ ホゴ	オフ* オン	自動切り替えシーケンスにトレイを組み込むかどうかを指定します。トレイが自動切り替えシーケンスに入っていない場合、その用紙は、別のトレイが用紙切れになったときに選択されません。トレイ切り替えについて詳しくは、トレイ・スイッチの説明を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>オフ - トレイを自動切り替えシーケンスに組み込みます。</li> <li>オン - トレイを自動切り替えシーケンスに組み込みません。</li> </ul>

## カスタムヨウシメニュー

IPDS ジョブ用のカスタム用紙サイズを定義するには、カスタムヨウシメニューを使用します。次の表は、カスタムヨウシメニューから変更することができる設定値を説明しています。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。

注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. このメニューは IPDS オプションが導入されている場合にのみ表示されます。
3. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。
4. カスタム用紙の定義の例については、61ページの『IPDS 用のカスタム用紙サイズの定義』を参照してください。

カスタムヨウシメニュー項目	値	説明
ヨウシ 1 タンイ	MM* IN	カスタム用紙の測定単位を指定します。
ヨウシ 1 ナガサ	nnn nn.n	カスタム用紙の長さを指定します。ヨウシタンイは、mm に設定されます。許容値は 148 ~ 508 mm です。ヨウシタンイはインチに設定されます。許容値は 5.9 ~ 20.0 インチです。
ヨウシ 1 ハバ	nnn nn.n	カスタム用紙の幅を指定します。ヨウシタンイが mm に設定されている場合は、許容値は 88 ~ 330 mm です。ヨウシタンイがインチに設定されている場合は、許容値は 3.5 ~ 13.0 インチです。
ヨウシ 2 タンイ ヨウシ 2 ハバ ヨウシ 2 ナガサ ヨウシ 3 タンイ ヨウシ 3 ハバ ヨウシ 3 ナガサ ヨウシ 4 タンイ ヨウシ 4 ハバ ヨウシ 4 ナガサ ヨウシ 5 タンイ ヨウシ 5 ハバ ヨウシ 5 ナガサ		さらに 4 つまでのカスタム用紙を指定します。各フィールドの説明については、ヨウシ 1 タンイ、ヨウシ 1 ナガサ、およびヨウシ 1 ハバを参照してください。



## コウセイメニュー

プリンターを構成するにはコウセイメニューを使用します。次の表は、コウセイメニューから変更可能な設定値を示したものです。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。

注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. 印刷ジョブ内に設定された値 (印刷アプリケーションまたはプリンター・ドライバーによっては、プリンターで設定された値を上書きします)。
3. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

コウセイメニュー項目	値	説明
ジャムカイク	オフ* オン	IPDS 以外のジョブについてジャムカイク機能をオンまたはオフに設定します。(IPDS ジョブの場合は、ホストは常に回復を行います。) <ul style="list-style-type: none"><li>• オフ - プリンターは印刷されたページのイメージを保持しません。紙詰まりを起こしたページは再印刷されません。</li><li>• オン - プリンターは、印刷されたページが正常な形でプリンターから排出されるまで、そのページのイメージを保持します。紙詰まりを起こしたページは自動的に再印刷されます。オンを選択すると、プリンターのパフォーマンスが低下する場合があります。</li></ul>
ジドウケイゾク	オン* オフ	自動継続機能をオンまたはオフに設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オン - ある一定のタイプのエラー (メモリー割り振りエラーなど) が起こると、プリンターは 30 秒間休止し、その後で実行を続けます。エラーによってはデータが失われる場合があるので、ジドウケイゾクをオンに設定すると、データが失われている場合であっても、プリンターは操作員の介入なしに印刷を継続します。</li><li>• オフ - オンの場合と同じエラーが起こると、プリンターは停止し、操作員の介入を待ちます。(一般的に、操作員は、継続キーを押して印刷を続行するか、印刷取消キーを押して現行ジョブを取り消します。)</li></ul>

コウセイ メニュー項目	値	説明
トナー・ノード	n	<p>トナー濃度を設定します。n は 0 ~ 4 の範囲の値で、0 が濃度が最も薄く、4 が濃度が最も濃くなります。1 が省略時値です。</p> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>濃度を上げると、文書はより濃く見えますが、トナーをより多く使用するので、トナー・カートリッジの印刷ページ数は減ることになります。</li> <li>トナー濃度を下げると、イメージが鮮明になることがあります。</li> <li>コウセイメニューでヒンシツがエコノに設定されていない限り、濃度はべた塗り部分 (大きな黒い部分) の濃度にほとんど影響を与えません。</li> </ol>
PWRSVAV	30 MIN* 1HR 2HR 3HR 4HR オフ 15 MIN	<p>プリンターが電力節減 (休眠) モードに入るまでに、プリンターが動作しない状態でいられる時間を指定します。このモードでは、プリンターはそのシステムのほとんどの電源を切ってしまうので、次に印刷が要求されたときにウォーム・アップ時間が余分にかかります。</p>
ヒンシツ	フツウ* セイサイ エコノ 1200	<p>印刷品質を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フツウ - 通常の品質です。テキスト文書に使用します。</li> <li>セイサイ - エッジが滑らかです。イメージ、陰影付け、および複雑なグラフィックスを含む文書に使用します。</li> <li>エコノ - 塗りつぶし部分の濃度 (大きな黒い部分に使用されるトナーの量) を減らし、トナーを節約します。</li> <li>1200 - 1200 dpi の解像度をエミュレートします。</li> </ul> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1200 dpi エミュレーションは、片面印刷モードでは 8MB 以上のメモリーを必要とし、両面印刷モードでは 12MB 以上のメモリーを必要とします。5ページの『メモリー所要量』を参照してください。</li> <li>1200 dpi エミュレーションは IPDS 用にはサポートされていません。1200 を選択する場合、プリンターは IPDS ジョブをそれより低い解像度で印刷することはしますが、パフォーマンス上の理由から、ドライバーまたは操作パネルを使用して、ヒンシツを IPDS についてフツウ、セイサイ、またはエコノ (使用可能な場合) に明示的に設定するようお勧めします。(ドライバー設定値はメニュー設定値を上書きします。)</li> <li>パラレル接続機構のみを使用しており、2000 枚入カドローが取り付けられていない場合は、操作パネルにエコノ、セイサイ、1200 が表示されない場合があります。パネルにエコノが表示されず、それを使用したい場合は、IBM 技術サポートにご連絡ください (4ページの『テクニカル・サポート』を参照してください)。</li> </ol>

コウセイ メニュー項目	値	説明
トナーギレ	ケイゾク* テイシ	<p>トナー・カートリッジがトナー切れのときに印刷を停止するかどうか指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ケイゾク - 印刷を続行します。</li> <li>• テイシ - 印刷を停止します。</li> </ul>

## Memconfig メニュー

Memconfig メニューは、プリンターがポートを切り替えるときに、データ・ストリーム情報を保管するかどうかを定義する場合に使用します。次の表は、Memconfig メニューから変更可能な設定値を示したものです。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。

注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. コンテキスト保管をサポートする十分なメモリーがない場合には、このメニューは表示されません。600 DPI は少なくとも 12MB を必要とします。1200 DPI エミュレーションは、少なくとも 24MB を必要とします。より大きい用紙サイズ、ページ保護、および両面印刷は、メモリー所要量をさらに増やす場合があります (5ページの『メモリー所要量』を参照してください)。どれだけメモリーを取り付けてあるか確認するには、プリンター構成ページを印刷してください。詳しくは、23ページの『プリンター構成ページの印刷』を参照してください。
3. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

Memconfig メニュー項目	値	説明
PCL ホカン	オフ* オン	プリンターが、PCL5e から別のデータ・ストリームに切り替えるときに、PCL5e 情報 (ダウンロード済みフォント、マクロ、パターン) を保管するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オフ - プリンターはデータを保管しません。</li><li>• オン - プリンターはデータを保管します。</li></ul>
PS ホカン	オフ* オン	プリンターが、PostScript から別のデータ・ストリームに切り替えるときに、PostScript 情報 (ダウンロード済みフォント、マクロ、パターン) を保管するかどうかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オフ - プリンターはデータを保管しません。</li><li>• オン - プリンターはデータを保管します。このオプションは、プリンターに十分なメモリーが取り付けられている場合にのみ使用することができます。メモリー所要量について詳しくは、5ページの『メモリー所要量』を参照してください。</li></ul>

## パラレル・メニュー

パラレル・メニューは、プリンターが、パラレル接続機構で通信をどのように処理するかを定義する場合に使用します。次の表は、パラレル・メニューから変更可能な設定値を示したものです。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。

注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

パラレル・メニュー項目	値	説明
パーソナリティ	オート* PCL PS	プリンターが、パラレル接続機構を介して受信したジョブをどのように取り扱うかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オート - プリンターは、そのデータ・ストリームが PCL5e か PostScript かを判別し、それぞれの方法でそれを処理します。これが推奨値です。</li><li>• PCL - プリンターはすべてのデータ・ストリームを PCL5e として取り扱います。</li><li>• PS - プリンターはすべてのデータ・ストリームを PostScript として取り扱います。</li></ul>
ソウホウコウ	オン* オフ	パラレル接続機構を介する双方向通信をオンまたはオフに切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オフ - プリンターは、ホストからメッセージを受信しますが、メッセージをホストに送り返しません。</li><li>• オン - プリンターはホストとの間でメッセージを送受信します。</li></ul>
ポート・タイムアウト	nnn	プリンターが、そのジョブに関してそれ以外のデータはないと判断する前に、データを待つ秒数を指定します。他の接続機構が取り付けられている場合、プリンターはその後にジョブ用の他の接続機構をチェックします。有効範囲は 5 ~ 300 秒です。省略時値は 15 秒です。

## PCL メニュー

PCL メニューは、プリンターが PCL5e ジョブを処理する方法を定義する場合に使用します。次の表は、PCL メニューから変更可能な設定値を示したものです。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。

注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. PCL5e 印刷ジョブに設定された値(印刷アプリケーションまたはプリンター・ドライバーによって)は、ユーザーがプリンターで設定した PCL メニュー値を上書きします。
3. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

PCL メニュー項目	値	説明
ページホゴ	オート* オン	ページ保護を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オート - プリンターは必要な最低限のメモリー量を保護します。</li><li>• オン - プリンターはそのページを印刷する前に、圧縮を行わずにページ全体を処理するために十分なメモリーを確保します。これは、まれにプリンターの圧縮スキーマが原因で複雑なグラフィックスの品質が低下してしまった場合に、それを解決する援助となります。この設定値は、そのプリンターに十分なメモリーがある場合にのみ使用することができます。詳しくは、5ページの『メモリー所要量』を参照してください。</li></ul>
ブスウ	nnn	各ジョブごとに何枚のコピーを印刷するかを指定します。nnn の範囲は 1 ~ 999 です。1 が省略時値です。

PCL メニュー項目	値	説明
ヨウシサイズ	レター* リーガル FOLIO 11X17 A4 B5-JIS B4 A5 A3 EXEC STATMNT MONARCH はがき COM10 C5 DL UNIV UNI-ENV	PCL5e ジョブの場合の省略時のヨウシサイズを指定します。
EDGE-EDGE	オフ* オン	PCL のエッジからエッジまでの印刷をオンまたはオフにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>オフ - プリンターは用紙の 4 辺すべてに 4 mm のボーダーを保持します。</li> <li>オン - プリンターは、物理用紙サイズいっぱいまでの印刷を行うことができます。</li> </ul> 注: トナーがプリンターを汚さないようにするため、EDGE-EDGE をオフに設定したままにするようお勧めします。オンを使用するのは、必要な場合のみにしてください。
ヨウシ	nnn LINES	プリンターが次のページの印刷を開始するまでの、各ページごとの行数を指定します。 nnn の範囲は 5 ~ 128 です。 60 が省略時値です。
フォント・ソース	ナイブ* ディスク フラッシュ ソフト	指定されたフォントに関して、プリンターがどのフォント・ソースを最初にチェックするかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ナイブ - 最初にプリンターの常駐フォントを使用します。</li> <li>ディスク - プリンターのハード・ディスク・ドライブに格納されたフォントを最初に使用します。</li> <li>フラッシュ - フラッシュ SIMM に格納されたフォントを最初に使用します。</li> <li>ソフト - ダウンロードされたフォントを最初に使用します。</li> </ul>
フォントバンゴウ	nnn	省略時のフォントを指定します。 nnn はフォントの番号です。 省略時値は 0 です。 使用可能フォントとその対応番号のリストを表示するには、テスト・メニューから PCL フォントインサツを選択します。 詳しくは、27ページの『PCL5e フォントのリストの印刷』を参照してください。
PT サイズ	nnn.nn	省略時フォントがアウトライン・フォントである場合に、そのフォントのポイント・サイズを指定します。有効範囲は 4 ~ 999.75 です。 省略時値は 12 です。

PCL メニュー項目	値	説明
ピッチ	nn.nn	省略時フォントがビット・マップされている (ラスターの) 場合に、そのフォントに使用するピッチを指定します。有効範囲は .44 ~ 99.99 です。省略時値は 10 です。
キゴースセット	ROMAN-8* ISO L1 ISO L2 ISO L5 PC-8 PC-8D/N PC-850 PC-852 PC8-TK WIN L1 WIN L2 WIN L5 DESKTOP PS TEXT VN INTL VN US MS PUBL MATH-8 PS MATH VN MATH PI FONT リーガル ISO 4 ISO 6 ISO 11 ISO 15 ISO 17 ISO 21 ISO 60 ISO 69 WIN 3.0	使用する記号セットを指定します。



PCL メニュー項目	値	説明
オート・リセット	オン* オフ	<p>PCL オート・リセットをオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン - オート・リセットがオンです。ポートが時間切れになるか、ポートが異なるネットワークからデータを受信するか、プリンターがデータ・ストリームを切り替えるか、プリンターがポートを切り替えると、現行の PCL 設定値がリセットされます。</li> <li>• オフ - オート・リセットがオフです。ポートが時間切れになるか、異なるネットワークからデータを受信するとき、現行の PCL 設定値はリセットされません。</li> </ul> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オート・リセット値とは無関係に、プリンターがデータ・ストリームを切り替えるか、プリンターがポートを切り替えると、PCL 設定値がリセットされます。</li> <li>2. プリンターがデータ・ストリームを切り替えるときに PCL 設定値を保管するには、MEMCONFIG メニュー (88ページの『Memconfig メニュー』) で PCL ホカン=オンを指定します。</li> </ol>

## PS メニュー

PS メニューは、プリンターが PostScript ジョブを処理する方法を定義する場合に使用します。次の表は、PS メニューから変更可能な設定値を示したものです。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。

注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. PostScript 印刷ジョブに設定された値 (印刷アプリケーションまたはプリンター・ドライバによって) は、ユーザーがプリンターで設定した PS メニュー値を上書きします。
3. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

PS メニュー項目	値	説明
ページホゴ	オート* オン	ページ保護を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オート - プリンターは必要な最低限のメモリー量を保護します。</li><li>• オン - プリンターはそのページを印刷する前に、圧縮を行わずにページ全体を処理するために十分なメモリーを確保します。これは、まれにプリンターの圧縮スキーマが原因で複雑なグラフィックスの品質が低下してしまった場合に、それを解決する援助となります。この設定値は、そのプリンターに十分なメモリーがある場合にのみ使用することができます。詳しくは、5ページの『メモリー所要量』を参照してください。</li></ul>
ブスウ	nnn	各ジョブごとに何枚のコピーを印刷するかを指定します。nnn の範囲は 1 ~ 999 です。1 が省略時値です。
エラーノインサツ	オフ* オン	プリンターが PostScript エラーをどのように処理するかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オフ - プリンターはそのジョブを取り消し、エラー・ページは印刷しません。</li><li>• オン - プリンターはエラー・ページを印刷して、そのジョブを取り消します。</li></ul>

PS メニュー項目	値	説明
EDGE-EDGE	オン* オフ	<p>エッジからエッジまでの印刷をオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン - プリンターは、物理用紙サイズいっぱいまでの印刷を行うことができます。</li> <li>• オフ - プリンターは用紙の 4 辺すべてに 4 mm のボーダーを保持します。</li> </ul> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. InfoPrint 20用の IBM プリンター・ドライバーを使用するときは、EDGE-EDGE をオンに設定したままにしておくことをお勧めします。IBM 以外のプリンター・ドライバーを使用する場合は、トナーがプリンター内を汚さないようにするため EDGE-EDGE をオフに設定する必要がある場合があります。</li> <li>2. IBM プリンター・ドライバーは、オフの設定値を上書きすることはできません。EDGE-EDGE をオフに設定する場合は、エッジからエッジまで印刷することはできません。</li> </ol>

## IPDS メニュー

次の表は、IPDS メニューから変更可能な設定値を示したものです。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。IPDS メニューは、IPDS SIMM を導入してある場合にのみ表示されます。

注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. IPDS 印刷ジョブに指定された値は、プリンターで設定された IPDS メニューの値を上書きします。
3. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

IPDS メニュー項目	値	説明
ページホゴ	オート* オン	ページ保護を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オート - プリンターはそのページを印刷するのに必要な最低限のメモリー量を使用します。</li><li>• オン - プリンターはそのページを印刷する前に、圧縮を行わずにページ全体を処理するために十分なメモリーを確保します。これは、まれにプリンターの圧縮スキーマが原因で複雑なグラフィックスの品質が低下してしまった場合に、それを解決する援助となります。この設定値は、そのプリンターに十分なメモリーがある場合にのみ使用することができます。詳しくは、5ページの『メモリー所要量』を参照してください。</li></ul>

IPDS メニュー項目	値	説明
DEF CD PAG	nnnn	<p>省略時のコード・ページを指定します。省略時値はコード・ページ 037 です。</p> <p>037 US, Canada, Netherlands, Portugal  038 US English ASCII  260 Canadian French  273 Austrian/German  274 Belgium  276 Canadian French  277 Danish/Norwegian  278 Finnish/Swedish  280 Italian  281 Japanese  284 Spanish  285 UK English  286 Austrian/German (alternate)  287 Danish/Norwegian (alternate)  288 Finnish/Swedish (alternate)  290 Japanese/Katakana  297 French  420 Arabic  423 Greek  424 Hebrew  500 Belgium, Switzerland / International  870 Latin 2 Multilingual  871 Icelandic  875 Greek  880 Cyrillic  892 OCR - A  893 OCR - B  905 Turkish  1025 Cyrillic  1026 Turkish</p>
エミュレーション	4028* 4320	<p>エミュレートするプリンターを指定します。適切なレベルの PSF ソフトウェアを導入している場合にのみ、4320 を選択するようにしてください。(システム管理者にご相談ください。)</p>
DEF FGID	nnnnn	<p>省略時の FGID (フォント活字書体グローバル識別子) を指定します。これは、プリンターが使用する省略時の常駐フォントを識別します。省略時値は FGID 416 で、これは省略時常駐フォントとして Courier 10 ポイントを指定します。</p> <p>プリンターがサポートしているフォントおよび FGID のリストを表示するには、IPDS 常駐フォントのリストを印刷します (28ページの『IPDS 常駐フォントのリストの印刷』を参照してください)。</p>
CPI	nn.n	<p>省略時フォントの文字数/インチ (ピッチ) を選択します。有効な値の範囲は、10 分の 1 インチ単位で 5.0 ~ 30.0 です。省略時値は 10 です。</p>

IPDS メニュー項目	値	説明
VPA CHK	オン* オフ	<p>有効印刷可能域の検査をオンまたはオフに切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン - プリンターは、論理ページと物理ページの交点より外側にペルがあるかどうか検査をします。ペルがその区域の外側にある場合には、IPDS 例外処理制御コマンド設定値がエラー報告を要求しているときは、プリンターはホストにエラーを報告します。</li> <li>• オフ - プリンターは、有効印刷可能域より外側にペルがあっても報告しません。</li> </ul>
X-オフセット	nnn	<p>X (水平) 方向の印刷オフセットを設定します。nnn は -999 ~ 999 の範囲にすることができます。省略時の設定値は 0 ペルです。正の値は、印刷の開始点を物理原点の右方に移動します。負の値は、印刷の開始点を左方に移動します。物理原点は縦長ページの左上隅方向です。ページを回転させた場合、物理原点も回転します。</p> <p>注: X-オフセットおよび Y-オフセット・オプションは、ライン・プリンターの印刷ジョブをエッジからエッジまでの印刷が不可能なページに適合するようにするものです。新規アプリケーション、特に両面印刷アプリケーション、を生成するときは、X-オフセットおよび Y-オフセットはお勧めできません。</p>
Y-オフセット	nnn	<p>Y (垂直) 方向の印刷オフセットを設定します。nnn は -999 ~ 999 の範囲にすることができます。省略時の設定値は 0 ペルです。正の値は、印刷の開始点を物理原点から下方に移動します。負の値は、印刷の開始点を上方に移動します。物理原点は縦長ページの左上隅方向です。ページを回転させた場合、物理原点も回転します。</p> <p>注: X-オフセットおよび Y-オフセット・オプションは、ライン・プリンターの印刷ジョブをエッジからエッジまでの印刷が不可能なページに適合するようにするものです。新規アプリケーション、特に両面印刷アプリケーション、を生成するときは、X-オフセットおよび Y-オフセットはお勧めできません。</p>

IPDS メニュー項目	値	説明
ページ	ゼンタイ* COMP1 COMP2 インサツ	<p>ページ上でデータがどのように配置されるかを判別します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゼンタイ - IPDS ページ全体 (省略時値)。プリンターはページの移動または圧縮を行いません。これは優先方式です。全ページ位置決めおよび形式制御はホスト上でアプリケーション・レベルで実行されます。インサツ、COMP1、および COMP2 の各オプションは、ページの外観を更新することもでき、また特に両面印刷および X-オフセットや Y-オフセットなどの他の IPDS メニューページ形式調整と結合されたとき、以前のプロダクト (3116, 3916 など) と互換性がない場合があります。インサツ、COMP1、および COMP2 は、ライン・プリンターのジョブがエッジからエッジまでの印刷が不可能であるページに適合できるようにするために組み込まれています。これらは、新規アプリケーションの生成に使用するのをお勧めできません。</li> <li>インサツ - IPDS 印刷ページ。ページ原点が印刷不能区域にある場合は、ページの原点は最も近い印刷不能区域のボーダーの内側エッジに移動されます。原点が 2 つのエッジ上で印刷不能区域に違反する場合は、印刷不能区域の最も近い内側の隅に移動されます。原点が印刷不能区域の 1 つのエッジにだけ違反する場合は、原点はその区域のみを避けるように調整されます。</li> </ul> <p>位置調整が行われた場合、印刷ページは調整方向に移動します。圧縮はありません。したがって反対側のエッジのデータはページから押し出される場合があります。</p> <p>注: インサツが機能するには、EDGE-EDGE がオフに設定されている必要があります。この印刷不能区域内におかれたデータはすべて失われます。またインサツは、封筒または媒体オーバーレー (基本ページの一部であるオーバーレーで、可変印刷データ中に含まれるオーバーレーではない) 上では機能しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>COMP1-COMP1 形式はインサツページを基本として使用し、次に IPDS Begin Line コマンドによって生成されたテキスト行間隔を圧縮します。その使用目的は、Begin Line テキスト・データを印刷不能ボーダーのあるページに圧縮することです。</li> </ul> <p>次のページに続く...</p>

IPDS メニュー項目	値	説明
ページ	インサツ ゼンタイ* COMP1 COMP2	<p>(前のページから続く...)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>COMP2-COMP2 形式はインサツページを基本として使用し、次に圧縮 IPDS Begin Line コマンド (COMP1 参照) および以下の垂直テキスト位置決めコマンドを追加します。Absolute Move Baseline、Relative Move Baseline、Draw B Axis Rule、Draw I Axis Rule。</li> </ul> <p>注: COMP1 または COMP2 を選択し、テキストとイメージ、グラフィックス、またはバー・コードを混合するジョブを印刷する場合、位置合せ問題が発生する可能性があります。テキスト位置決めコマンドを使用してテキストを横切ったり、非テキスト (イメージ、グラフィックス、またはバー・コード) 区域に入ったりする場合は、問題が発生します。COMP1 および COMP2 は両方ともテキストのみの行送りを減少させ、非テキスト・データには影響を与えません。この問題を最小化するには、COMP1 を選択します。なぜならばBegin Line コマンドは通常は横切ったり非テキスト区域に入ったりするためには使用されないからです。しかし、圧縮したいアプリケーションが Begin Line コマンドを使用しない場合は、COMP2 を選択する必要があります。</p>
EDGE-EDGE	オフ* オン	<p>エッジからエッジまでの印刷をオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オフ - プリンターは用紙の 4 辺すべてに 4 mm の印刷されないボーダーを保持します。</li> <li>オン - プリンターは、物理用紙サイズいっぱいまでの印刷を行うことができます。</li> </ul> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>トナーがプリンターを汚さないようにするため、IPDS について EDGE-EDGE をオフに設定したままにするようお勧めします。オンを使用するのは、必要な場合のみにしてください。</li> <li>IPDS メニュー項目 EDGE-EDGE は IPDS データにのみ適用されません。同軸接続機構を介して送信された非 IPDS データについてエッジからエッジまでの印刷を指定するには、COAX セッテイメニューで EDGE-EDGE 項目を使用します。平衡型接続機構を介して送信された非 IPDS データについてエッジからエッジまでの印刷を指定するには、TWINAX セッテイメニューで EDGE-EDGE 項目を使用します。</li> </ol>
フォントチカン	オフ* オン	<p>フォントの置換をオンまたはオフに切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オフ - ジョブがプリンター上にロードされていないフォントを要求した場合、プリンターは IPDS NACK メッセージを生成し、ホストはそのジョブを保留します。</li> <li>オン - ジョブがプリンター上にロードされていないフォントを要求した場合は、プリンターは他のフォントで代用を試みます。</li> </ul>



IPDS メニュー項目	値	説明
ソウキインサツカンリョウ	オフ* オン	<p>IPDS ジョブに関して早期印刷完了をオンまたはオフに切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オフ - プリンターは、ジョブが物理的に完了するまで待ってから、ジョブが完了したことをホストにシグナルします。</li> <li>• オン - プリンターは、IPDS データのフォーマットが済むと即時に、ジョブが完了したことをホストにシグナルします。</li> </ul> <p>ソウキインサツカンリョウ=オンに設定すると、印刷パフォーマンスが改善されることがありますが、ジャムなどの一部の印刷問題から回復を低減させ、データ喪失を生じることがあります。</p>
IPDS ポート	COAX* TX ETHER TRING	<p>IPDS ジョブ用に使用する接続機構を指定します。</p> <p>注: 複数のポートから IPDS を印刷することができます。したがってこの項目の設定は、複数ポートからの印刷を制限しません。</p>
カスタムヨウシ	1* 2 3 4 5	<p>使用するカスタム用紙を指定します。カスタムヨウシメニューにより、カスタム用紙を 5 つまで指定することができます。カスタム用紙の定義については、61ページの『IPDS 用のカスタム用紙サイズの定義』を参照してください。</p>

## トークンリング・メニュー

### 重要

トークンリング接続機構の構成については、トークンリング・ネットワーク・インターフェース・カードに付属の *IBM Network Printers: Ethernet and Token Ring Quick Configuration Guide* を参照してください。175ページの第9章、『プリンター・ネットワーク・アドレスの構成』では、操作パネルから IP アドレス、省略時ゲートウェイ・アドレス、およびサブネット・マスクを定義する方法を説明します。

トークンリング・メニューは、トークンリング接続機構を構成する場合に使用します。次の表は、トークンリング・メニューから変更可能な設定値を示したものです。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。トークンリング・メニューは、トークンリング接続機構を取り付けてある場合のみ表示されます。

### 注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

トークンリング・メニュー項目	値	説明
パーソナリティ	オート* PCL PS IPDS	プリンターが、トークンリング接続機構を介して受信したジョブをどのように取り扱うかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オート - プリンターはデータ・ストリームを調べ、それに応じて処理します。</li><li>• PCL - プリンターはすべてのデータ・ストリームを PCL5e として取り扱います。</li><li>• PS - プリンターはすべてのデータ・ストリームを PostScript として取り扱います。</li><li>• IPDS - プリンターはすべてのデータ・ストリームを IPDS として取り扱います。このオプションは、IPDS SIMM が導入されている場合のみ表示されます。</li></ul>
ポート・タイムアウト	nnn	プリンターが、そのジョブに関してそれ以外のデータは受信しないと判断する前に、データを待つ秒数を指定します。他の接続機構が取り付けられている場合、プリンターはその後にジョブ用の他の接続機構をチェックします。有効範囲は 5 ~ 300 です。省略時値は 15 秒です。

トークンリング・メニュー項目	値	説明
TCP/IP	オン* オフ	<p>TCP/IP 通信をオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン - TCP/IP 通信を使用可能にします。</li> <li>• オフ - TCP/IP 通信を使用不可にします。</li> </ul> <p>注: TCP/IP がオフである場合、次のメニュー項目は表示されません。IP ADDRESS、SUBNET MASK、GATEWAY ADDRESS、BOOTP、および DHCP。</p>
IP ADDRESS	nnn.nnn.nnn.nnn	<p>プリンターの IP アドレスを指定します。この値を変更する前に、ネットワークまたは LAN の管理者に相談してください。詳しくは、175ページの第9章、『プリンター・ネットワーク・アドレスの構成』を参照してください。</p> <p>注: このメニュー項目は、TCP/IP がオンの場合のみ表示されます。</p>
SUBNET MASK	nnn.nnn.nnn.nnn	<p>プリンターのサブネット・マスクを指定します。この値を変更する前に、ネットワークまたは LAN の管理者に相談してください。詳しくは、175ページの第9章、『プリンター・ネットワーク・アドレスの構成』を参照してください。</p> <p>注: このメニュー項目は、TCP/IP がオンの場合のみ表示されます。</p>
GATEWAY ADDRESS	nnn.nnn.nnn.nnn	<p>省略時ゲートウェイの IP アドレスを指定します。この値を変更する前に、ネットワークまたは LAN の管理者に相談してください。詳しくは、175ページの第9章、『プリンター・ネットワーク・アドレスの構成』を参照してください。</p> <p>注: このメニュー項目は、TCP/IP がオンの場合のみ表示されます。</p>
BOOTP	IFNO ADDR* オン オフ	<p>プリンターに IP アドレスを割り当てるために、トークンリング・ネットワーク・インターフェース・カードがサーバーに bootp 要求を送信するかどうか指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• IFNO ADDR - アドレスがまだプリンターで設定されていない場合のみ、トークンリング・ネットワーク・インターフェース・カードが bootp 要求を送信します。</li> <li>• オン - トークンリング・ネットワーク・インターフェース・カードが bootp 要求を送信することを指定します。</li> <li>• オフ - トークンリング・ネットワーク・インターフェース・カードが bootp 要求を送信してはならないことを指定します。</li> </ul> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このメニュー項目は、TCP/IP がオンの場合のみ表示されます。</li> <li>2. bootp 要求の数は、トークンリング・ネットワーク・インターフェース・カードに設定することにより、決定されます。省略時値は 3 です。</li> </ol>

トークンリング・メニュー項目	値	説明
DHCP	IFNO ADDR* オン オフ	<p>プリンターに IP アドレスを割り当てるために、トークンリング・ネットワーク・インターフェース・カードがサーバーに DHCP 要求を送信するかどうか指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• IFNO ADDR - アドレスがまだプリンターで設定されていない場合のみ、トークンリング・ネットワーク・インターフェース・カードが DHCP 要求を送信します。</li> <li>• オン - トークンリング・ネットワーク・インターフェース・カードが DHCP 要求を送信することを指定します。</li> <li>• オフ - トークンリング・ネットワーク・インターフェース・カードが DHCP 要求を送信してはならないことを指定します。</li> </ul> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このメニュー項目は、TCP/IP がオンの場合のみ表示されます。</li> <li>2. DHCP 要求の数は、トークンリング・ネットワーク・インターフェース・カードに設定することにより、決定されます。省略時値は 3 です。</li> </ol>
NETWARE	オン* オフ	<p>Netware 通信をオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン - Netware 通信を使用可能にします。</li> <li>• オフ - Netware 通信を使用不可にします。</li> </ul>
NW FRAME	オート* 802.2 SNAP	<p>Netware フレーム・タイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オート - プリンターは、受信する最初のフレームのフレーム・タイプを使用します。</li> <li>• 802.2 - プリンターは IEEE 802.2 フレーム・タイプを使用します。</li> <li>• SNAP - プリンターは SNAP フレーム・タイプを使用します。</li> </ul> <p>注: このメニュー項目は、NETWARE がオンの場合のみ表示されます。</p>
NETBIOS	オン* オフ	<p>NetBIOS 通信をオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン - NetBIOS 通信を使用可能にします。</li> <li>• オフ - NetBIOS 通信を使用不可にします。</li> </ul>
APPLETALK	オン* オフ	<p>AppleTalk 通信をオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン - AppleTalk 通信を使用可能にします。</li> <li>• オフ - AppleTalk 通信を使用不可にします。</li> </ul>

トークンリング・メニュー項目	値	説明
MAC ADDRESS	nn.nn.nn.nn.nn	<p>プリンターの MAC (媒体アクセス制御) 番号を指定します。</p> <p>注: 通常は、MAC ADDRESS はネットワーク・インターフェース・カード上で固有の MAC ADDRESS に設定します。しかし、MAC ADDRESS フィールドを使用してローカル管理アドレス (LAA) を定義することもできます。プリンターを出荷時設定の省略時値にリセットすると、LAA が MAC アドレスに設定され直されます。各 LAA は固有のものでなければならず、したがって、この値を変更する前に必ずネットワークまたは LAN の管理者に相談してください。</p> <p>詳しくは、176ページの『ローカル管理 MAC アドレス (LAA) の設定』を参照してください。</p>

## イーサネット・メニュー

### 重要

イーサネット接続機構の構成方法については、イーサネット・ネットワーク・インターフェース・カードに付属の *IBM Network Printers: Ethernet and Token Ring Quick Configuration Guide* を参照してください。175ページの第9章、『プリンター・ネットワーク・アドレスの構成』では、操作パネルから IP アドレス、省略時ゲートウェイ・アドレス、およびサブネット・マスクを定義する方法を説明します。

イーサネット・メニューは、イーサネット接続機構を構成する場合に使用します。次の表は、イーサネット・メニューから変更可能な設定値を示したものです。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。イーサネット・メニューは、イーサネット接続機構を取り付けてある場合のみ表示されます。

### 注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

イーサネット・メニュー項目	値	説明
パーソナリティ	オート* PCL PS IPDS	プリンターが、イーサネット接続機構を介して受信したジョブをどのように取り扱うかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オート - プリンターはデータ・ストリームを調べ、それに応じて処理します。</li><li>• PCL - プリンターはすべてのデータ・ストリームを PCL5e として取り扱います。</li><li>• PS - プリンターはすべてのデータ・ストリームを PostScript として取り扱います。</li><li>• IPDS - プリンターはすべてのデータ・ストリームを IPDS として取り扱います。このオプションは、IPDS SIMM が導入されている場合のみ表示されます。</li></ul>
ポート・タイムアウト	nnn	プリンターが、そのジョブに関してそれ以外のデータは受信しないと判断する前に、データを待つ秒数を指定します。他の接続機構が取り付けられている場合、プリンターはその後にジョブ用の他の接続機構をチェックします。有効範囲は 5 ~ 300 です。省略時値は 15 秒です。

イーサネット・メニュー項目	値	説明
TCP/IP	オン* オフ	<p>TCP/IP 通信をオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン - TCP/IP 通信を使用可能にします。</li> <li>• オフ - TCP/IP 通信を使用不可にします。</li> </ul> <p>注: TCP/IP がオフである場合、次のメニュー項目は表示されません。IP ADDRESS、SUBNET MASK、GATEWAY ADDRESS、BOOTP、および DHCP。</p>
IP ADDRESS	nnn.nnn.nnn.nnn	<p>プリンターの IP アドレスを指定します。この値を変更する前に、ネットワークまたは LAN の管理者に相談してください。詳しくは、175ページの第9章、『プリンター・ネットワーク・アドレスの構成』を参照してください。</p> <p>注: このメニュー項目は、TCP/IP がオンの場合のみ表示されます。</p>
SUBNET MASK	nnn.nnn.nnn.nnn	<p>プリンターのサブネット・マスクを指定します。この値を変更する前に、ネットワークまたは LAN の管理者に相談してください。詳しくは、175ページの第9章、『プリンター・ネットワーク・アドレスの構成』を参照してください。</p> <p>注: このメニュー項目は、TCP/IP がオンの場合のみ表示されます。</p>
GATEWAY ADDRESS	nnn.nnn.nnn.nnn	<p>省略時ゲートウェイの IP アドレスを指定します。この値を変更する前に、ネットワークまたは LAN の管理者に相談してください。詳しくは、175ページの第9章、『プリンター・ネットワーク・アドレスの構成』を参照してください。</p> <p>注: このメニュー項目は、TCP/IP がオンの場合のみ表示されます。</p>
BOOTP	IFNO ADDR* オン オフ	<p>プリンターに IP アドレスを割り当てるために、イーサネット・ネットワーク・インターフェース・カードがサーバーに bootp 要求を送信するかどうか指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• IFNO ADDR - アドレスがまだプリンターで設定されていない場合のみ、イーサネット・ネットワーク・インターフェース・カードが bootp 要求を送信します。</li> <li>• オン - イーサネット・ネットワーク・インターフェース・カードが bootp 要求を送信することを指定します。</li> <li>• オフ - イーサネット・ネットワーク・インターフェース・カードが bootp 要求を送信してはならないことを指定します。</li> </ul> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このメニュー項目は、TCP/IP がオンの場合のみ表示されます。</li> <li>2. bootp 要求の数は、イーサネット・ネットワーク・インターフェース・カードに設定することにより、決定されます。省略時値は 3 です。</li> </ol>

イーサネット・メニュー項目	値	説明
DHCP	IFNO ADDR* オン オフ	<p>プリンターに IP アドレスを割り当てるために、イーサネット・ネットワーク・インターフェース・カードがサーバーに DHCP 要求を送信するかどうか指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• IFNO ADDR - アドレスがまだプリンターで設定されていない場合のみ、イーサネット・ネットワーク・インターフェース・カードが DHCP 要求を送信します。</li> <li>• オン - イーサネット・ネットワーク・インターフェース・カードが DHCP 要求を送信することを指定します。</li> <li>• オフ - イーサネット・ネットワーク・インターフェース・カードが DHCP 要求を送信してはならないことを指定します。</li> </ul> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このメニュー項目は、TCP/IP がオンの場合のみ表示されます。</li> <li>2. DHCP 要求の数は、イーサネット・ネットワーク・インターフェース・カードに設定することにより、決定されます。省略時値は 3 です。</li> </ol>
NETWARE	オン* オフ	<p>Netware 通信をオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン - Netware 通信を使用可能にします。</li> <li>• オフ - Netware 通信を使用不可にします。</li> </ul>
NW FRAME	オート* ETH II 802.2 802.3 SNAP	<p>Netware フレーム・タイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オート - プリンターは、受信する最初のフレームのフレーム・タイプを使用します。</li> <li>• ETHER II - プリンターはイーサネット標準バージョン 2 フレーム・タイプを使用します。</li> <li>• 802.2 - プリンターは IEEE 802.2 プロトコルを使用します。</li> <li>• 802.3 - プリンターは IEEE 802.3 プロトコルを使用します。</li> <li>• SNAP - プリンターは SNAP プロトコルを使用します。</li> </ul> <p>注: このメニュー項目は、NETWARE がオンの場合のみ表示されます。</p>
NETBIOS	オン* オフ	<p>NetBIOS 通信をオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン - NetBIOS 通信を使用可能にします。</li> <li>• オフ - NetBIOS 通信を使用不可にします。</li> </ul>
APPLETALK	オン* オフ	<p>AppleTalk 通信をオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン - AppleTalk 通信を使用可能にします。</li> <li>• オフ - AppleTalk 通信を使用不可にします。</li> </ul>



---

## COAX SCS メニュー

COAX SCS メニューは、プリンターが同軸接続機構を介する SCS データをどのように処理するかを定義する場合に使用します。次の表は、COAX SCS メニューから変更可能な設定値を示したものです。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。COAX SCS メニューは、同軸ネットワーク・インターフェース・カードを取り付けてある場合にのみ表示されます。

注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. 印刷ジョブで設定した値は、プリンターで設定した COAX SCS メニューの値を上書きします。
3. 同軸接続機構の構成方法については、*IBM Network Printers: Twinax/Coax Configuration Guide* を参照してください。
4. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

COAX SCS メニュー項目	値	説明
トレイ 1 トレイ 2 トレイ 3 ホジョ	アッシュク* アッシュク-タテ タテナガ ヨコナガ	<p>各トレイから印刷されるジョブの省略時の方向を指定します。トレイ 1 は、標準の 500 枚入力トレイです。トレイ 2 は、1 つのオプションの 500 枚トレイが取り付けられている場合は下側の 500 枚入力トレイであり、2 つのオプションの 500 枚トレイが取り付けられている場合は中央の 500 枚トレイです。2 つのオプションの 500 枚トレイが取り付けられているとき、トレイ 3 は一番下の 500 枚トレイです。各入力は、次の省略時の方向のいずれかに割り当てられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アッシュク - コンピューター出力縮小: 物理ページにもっと多くのデータを収容できるように縮小された論理ページの縦長印刷。プリンターは、垂直方向のスペースを縮小し、文字と文字の間のスペースが少ない、小さなフォントを使用します。</li> <li>• アッシュク-タテ - 圧縮縦長: 縦長の印刷ですが、水平および垂直方向の圧縮を使用します。  水平方向の圧縮により、10 cpi を使用するときは縦長で 80 文字/行を印刷し、16.7 cpi を使用するときは 133 文字/行を印刷することが可能になります。水平方向の圧縮係数は、使用する用紙サイズに応じて異なります。このため、レター用紙が使用されるときは圧縮が見られません。縦長のレター用紙は、10 cpi ですでに 80 文字を印刷することができるからです。  垂直方向の圧縮は、6 LPI では 66 行/ページを印刷し、8 LPI では 88 行/ページを印刷することを可能にします。垂直方向の圧縮係数も、使用される用紙サイズに応じて異なります。</li> <li>• タテナガ - 縦長: ページは通常の、縦型のビジネス・レター方向になります。補助トレイからの封筒に関しては、タテナガは通常の封筒方向を指定します。</li> <li>• ヨコナガ - 横長: ページは縦の長さより幅が大きくなります。</li> </ul>
APO	ショウカノウ* ショウフノウ	<p>自動印刷方向を使用可能、または使用不可にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ショウカノウ - そのジョブでの必要寸法がその用紙に収まる場合、そのページは、縦長が横長のうち、その寸法により適した方で印刷されます。要求された寸法が用紙に適合しない場合は、トレイに関する省略時方向 (アッシュク、タテナガ、ヨコナガ、または アッシュク-タテ) が用紙の印刷方法を判別します。</li> <li>• ショウフノウ - ページはトレイに関する省略時方向 (アッシュク、タテナガ、ヨコナガ または アッシュク-タテ) を使用して印刷します。</li> </ul> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. データ・ストリーム中で指定された値は、プリンターで設定された値を上書きします。</li> <li>2. 工場出荷時の省略時値 (方向は アッシュク および APO=ショウカノウに設定) は最大の柔軟性を提供します。</li> <li>3. 要求寸法 は、ジョブに関する CPI、ギョウオクリ、MPP、および MPL の値によって判別されます。これらの値は、データ・ストリーム中で、またはCOAX SCS メニュー上で設定することができます。</li> </ol>

COAX SCS メニュー項目	値	説明
LPI	6* 8 0	同軸接続機構を介して受信したジョブの、インチ当りの省略時の行数の値を指定します。有効な値は 0、6、および 8 です。省略時値は 6 行/インチです。0 は、ジョブ内で指定された値、またはそのプリンターの PCL 省略時値を示します。
ギョウオクリ	1* 2	シングル・スペースまたはダブル・スペースを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 - シングル・スペース</li> <li>• 2 - ダブル・スペース</li> </ul>
CPI	nn.n	インチ当りまたはピッチ当りの省略時の文字数を指定します。nn には 0、10、12、15、16.7、20、または 27 を入れることができます。省略時値は 10 文字/インチです。0 はプロポーショナル・フォント (FGID 1452) を指定します。プロポーショナル・フォントはプロポーショナル・スペースを使用することに注意してください。これによって予期しない結果が生じる場合があります(たとえば、表データは不ぞろいで表示されることがあります)。
CASE	ジョウゲダン* ジョウダン	印刷テキストの大文字小文字の指定をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ジョウゲダン - 文字は、受信されたままの文字で印刷されます。</li> <li>• ジョウダン - すべての文字は大文字で印刷されます。</li> </ul>
MPL	nnn	ページごとの最大ページ長 (MPL) (行数) を指定します。有効範囲は 0 ~ 255 です。66 が省略時値です。
MPP	nnn	最大印刷位置 (MPP) を指定します。有効範囲は 0 ~ 255 です。85 が省略時値です。

COAX SCS メニュー項目	値	説明
コード・ページ	nnn	<p>使用するコード・ページを指定します。コード・ページ 037 が省略時値です。</p> <p>037 US, Canada, Netherlands, Portugal  260 Canadian/French  273 Austrian/German  275 Brazil  277 Danish/Norwegian  278 Finnish/Swedish  280 Italian  281 Japanese  284 Spanish  285 UK English  286 Austrian/German (alternate)  287 Danish/Norwegian (alternate)  288 Finnish/Swedish (alternate)  289 Spanish  297 French  420 Arabic  424 Hebrew  500 Belgium, Switzerland / International  871 Icelandic  875 Greek  000 download the code page from the 3174 control unit</p>
TBM	nn.n	<p>上部バインディング・マージン (TBM) は、縦長または横長方向に印刷するとき、印刷可能域の上の端に対する行 1 の位置を決定するものです。TBM は 10 分の 1 インチで測定され、省略時値は 0 です。これは、すべての用紙ソースに適用されます。</p>
LBM	nn.n	<p>左のバインディング・マージン (LBM) は、縦長または横長方向に印刷するとき、印刷可能域の左端に対する行 1 の位置を決定するものです。LBM は 10 分の 1 インチで測定され、省略時値は 0 です。これは、すべての用紙ソースに適用されます。</p>
PA1	なし	<p>この値を選択して 設定キーを押すと、ホストに PA1 シグナルが送信されます。</p> <p>注: これは SCS のみに適用され、DSC/DSE または IPDS には適用されません。</p>
PA2	なし	<p>この値を選択して 設定キーを押すと、ホストに PA2 シグナルが送信されます。</p> <p>注: これは SCS のみに適用され、DSC/DSE または IPDS には適用されません。</p>

## TWINAX SCS メニュー

TWINAX SCS メニューは、プリンターが平衡型接続機構を介する SCS データをどのように処理するかを定義する場合に使用します。次の表は、TWINAX SCS メニューから変更可能な設定値を示したものです。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。TWINAX SCS メニューは、平衡型ネットワーク・インターフェース・カードを取り付けてある場合にのみ表示されます。

注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. 印刷ジョブで印刷された値 (印刷アプリケーションまたはプリンター・ドライバによって) は、プリンターで設定した TWINAX SCS メニュー値を上書きします。
3. 平衡型接続機構を構成する方法について詳しくは、*IBM Network Printers: Twinx/Coax Configuration Guide* を参照してください。
4. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

TWINAX SCS メニュー項目	値	説明
トレイ 1 トレイ 2 トレイ 3 ホジョ	アッシュク* タテナガ ヨコナガ アッシュク-タテ	<p>メニューにリストされた各トレイから印刷されるジョブの省略時の方向を指定します。トレイ 1 は、標準の 500 枚入力トレイです。トレイ 2 は、1 つのオプションの 500 枚トレイが取り付けられている場合は下側の 500 枚入力トレイであり、2 つのオプションの 500 枚トレイが取り付けられている場合は中央の 500 枚トレイです。2 つのオプションの 500 枚トレイが取り付けられているとき、トレイ 3 は一番下の 500 枚トレイです。ホジョは、プリンターの前面にあるフリップダウン・トレイです。各入力は、次の省略時の方向のいずれかに割り当てられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アッシュク - コンピューター出力縮小: 物理ページにもっと多くのデータを収容できるように縮小された論理ページの縦長印刷。プリンターは、垂直方向のスペースを縮小し、文字と文字の間のスペースが少なく、小さなフォントを使用します。</li> <li>• タテナガ - 縦長: ページは通常の、縦型のビジネス・レター方向になります。</li> <li>• ヨコナガ - 横長: ページは縦の長さより幅が大きくなります。</li> <li>• アッシュク-タテ - 圧縮縦長: 縦長の印刷ですが、圧縮を使用します。水平方向の圧縮は 10 cpi でのみサポートされています。圧縮係数は固定されています。A4 用紙では 80 文字/行で印刷し、レター用紙では 85 文字/行に印刷することを可能にします。</li> </ul>

TWINAX SCS メニュー項目	値	説明
LPI	6* 8 0 3 4	インチ当りの省略時の行数の値を指定します。0 は、ジョブ内で指定された値、またはそのプリンターの PCL 省略時値を示します。
CPI	nn.n	インチ当りまたはピッチ当りの省略時の文字数を指定します。nn には 0、5、10、12、15、17.1、20、または 27 を入れることができます。省略時値は 10 です。
コード・ページ	nnn	<p>使用する省略時のコード・ページを指定します。省略時値はコード・ページ 037 です。</p> <p>037 U.S.A. and Canada  273 Austrian/German  274 Belgium  275 Brazil  277 Danish/Norwegian  278 Finnish/Swedish  280 Italy  281 Japanese (Latin)  282 Portugal  284 Spanish (Latin America)  285 United Kingdom  297 France  420 Arabic  424 Hebrew  500 Multinational (International #5)  871 Iceland  875 Greek</p>

TWINAX SCS メニュー項目	値	説明
APO	シヨウカノウ* シヨウフノウ	<p>自動印刷方向を使用可能、または使用不可にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• シヨウカノウ - そのジョブでの必要寸法がその用紙に収まる場合、そのページは、縦長か横長のうち、その寸法により適した方で印刷されます。要求された寸法が用紙に適合しない場合は、トレイに関する省略時方向（アッシュク、タテナガ、ヨコナガ、または アッシュク-タテ）が用紙の印刷方法を判別します。</li> <li>• シヨウフノウ - ページはトレイに関する省略時方向（アッシュク、タテナガ、ヨコナガ または アッシュク-タテ）を使用して印刷します。</li> </ul> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. データ・ストリーム中で指定された値は、プリンターで設定された値を上書きします。</li> <li>2. 工場出荷時の省略時値（方向は アッシュク および APO=シヨウカノウに設定）は最大の柔軟性を提供します。</li> <li>3. 要求寸法 は、ジョブに関する CPI、LPI、MPP、および MPL の値によって判別されます。これらの値は、データ・ストリーム内に設定可能です。CPI および LPI は、TWINAX SCS メニュー上で設定することができます。MPP および MPL の平衡型省略時値は、メニューから設定することができます。それらは MPP については 132、MPL については 62 です。</li> </ol>

## COAX セッテイメニュー

COAX セッテイメニューは、同軸接続機構を構成する場合に使用します。次の表は、COAX セッテイメニューから変更可能な設定値を示したものです。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。COAX セッテイメニューは、同軸ネットワーク・インターフェース・カードを取り付けてある場合にのみ表示されます。

注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. 同軸接続機構の構成方法について詳しくは、*IBM Network Printers: Twinax/Coax Configuration Guide* を参照してください。
3. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

COAX セッテイメニュー項目	値	説明
ポート・タイムアウト	nnn	プリンターが、そのジョブに関してそれ以外のデータは受信しないと判断する前に、データを待つ秒数を指定します。次にプリンターは他の導入済み接続機構をチェックし、ジョブを待っている接続機構に切り替えます。nnn は 0 ~ 255 の範囲の値にすることができます。省略時値は 90 秒です。0 は、プリンターを同軸接続機構に専用にします (プリンターは他の接続機構からデータを受け入れません)。
IRQ タイムアウト	nn	IRQ (要介入) タイムアウトがいつ送信されるかを指定します。これは、ホストにエラーを通知する前に、要介入状態が訂正されるのをどれだけの間待つかをプリンターに知らせます。nn は 0 ~ 3600 秒の範囲の値にすることができます。省略時値は 60 秒です。0 は、IRQ タイムアウトを送信しないことを指定します。
HLD タイムアウト	nn	保留タイムアウト値を指定します。この値は、要介入状態を訂正するためにプリンターがオフラインになっている場合、どれだけの間待つかをプリンターに知らせます。この時間が経過すると、ホストにエラーが通知されます。nn は 0 ~ 1200 秒の範囲の値にすることができます。省略時値は 10 秒です。0 は保留タイムアウトを送信しないことを指定します。
ビジー・タイムアウト	nnn	使用中タイムアウト値を指定します。これは、プリンターが複数のポートに接続されている場合、ホストに通知する前に、制御が同軸接続機構に戻されるのを待つ時間を指定します。nnn は 0 ~ 999 分の範囲の値にすることができます。省略時値は 20 分です。0 は、使用中タイムアウトを送信しないことを指定します。



COAX セッテイ メニュー項目	値	説明
EDGE-EDGE	オフ* オン	<p>エッジからエッジまでの印刷をオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オフ - プリンターは用紙の 4 辺すべてに 4 mm のボーダーを保持します。</li> <li>• オン - プリンターは、物理用紙サイズいっぱいまでの印刷を行うことができます。</li> </ul> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. トナーがプリンターを汚さないようにするため、EDGE-EDGE をオフに設定したままにするようお勧めします。オンを使用するのは、必要な場合のみにしてください。</li> <li>2. COAX セッテイメニュー項目 EDGE-EDGE は SCS データにのみ適用されます。IPDS データについてエッジからエッジまでの印刷を指定するには、IPDS メニューで EDGE-EDGE 項目を使用します。</li> </ol>
EAB	シヨウカノウ* シヨウフノウ	拡張属性バッファを使用可能、または使用不可にします。
バッファ・サイズ	960 1920* 2560 3440 3564	バッファ・サイズをバイト単位で指定します。
ソウキインサツカン リョウ	オン* オフ	<p>同軸型接続機構を介して送信された非 IPDS データに関して、早期印刷完了をオンまたはオフに切り替えます。IPDS データについて早期印刷完了をオンまたはオフに切り替えるには、IPDS メニューのソウキインサツカンリョウ項目を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オン - データを受信するとすぐに“順序完了”を送信します。</li> <li>• オフ - 印刷ジョブが物理的に完了するまで“順序完了”の送信を待ちます。</li> </ul>

## TWINAX セッテイメニュー

TWINAX セッテイメニューは、平衡型接続機構を構成する場合に使用します。次の表は、TWINAX セッテイメニューから変更可能な設定値を示したものです。値の右側のアスタリスク(\*)は、出荷時設定の省略時値を示しています。TWINAX セッテイメニューは、平衡型ネットワーク・インターフェース・カードを取り付けてある場合にのみ表示されます。

注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク(\*)が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。

**重要!** SCS アドレスまたは IPDS アドレスを変更する場合は、プリンターの電源をオフにし、10 秒待ち、そしてプリンターの電源をオンにしなければ新しい値は有効になりません。

2. 平衡型接続機構の構成方法について詳しくは、*IBM Network Printers: Twinax/Coax Configuration Guide* を参照してください。
3. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

TWINAX セッテイメニュー項目	値	説明
SCS アドレス	オフ* n	SCS ポートの平衡型ハードウェア・アドレス。n の範囲は 0 ~ 6 です。 注: <ol style="list-style-type: none"><li>1. SCS アドレスおよび IPDS アドレスには同じ値を設定することはできません。</li><li>2. SCS アドレスまたは IPDS アドレスを変更する場合は、プリンターの電源をオフにし、10 秒待ち、そしてプリンターの電源をオンにしなければ新しい値は有効になりません。</li><li>3. IPDS SIMM が導入された場合、InfoPrint 20 は同一平衡型ポート上の 2 つの個別プリンターとして動作することができます。(プリンターは、同一の平衡型カードを使用して 2 つの異なる平衡型システムに接続することはできません。)一方の“プリンター”は SCS データを一方のアドレス (SCS アドレス) に印刷し、他方は IPDS を別のアドレス (IPDS アドレス) に印刷します。</li></ol>

TWINAX セッテイ メニュー項目	値	説明
IPDS アドレス	オフ* n	<p>IPDS ポートの平衡型ハードウェア・アドレス。n の範囲は 0 ~ 6 です。</p> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>SCS アドレスおよび IPDS アドレスには同じ値を設定することはできません。</li> <li>SCS アドレスまたは IPDS アドレスを変更する場合は、プリンターの電源をオフにし、10 秒待ち、そしてプリンターの電源をオンにしなければ新しい値は有効になりません。</li> <li>IPDS SIMM が導入された場合、InfoPrint 20 は同一平衡型ポート上の 2 つの個別プリンターとして動作することができます。(プリンターは、同一の平衡型カードを使用して 2 つの異なる平衡型システムに接続することはできません。)一方の“プリンター”は SCS データを一方のアドレス (SCS アドレス) に印刷し、他方は IPDS を別のアドレス (IPDS アドレス) に印刷します。</li> </ol>
EDGE-EDGE	オフ* オン	<p>エッジからエッジまでの印刷をオンまたはオフにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オフ - プリンターは用紙の 4 辺すべてに 4 mm の印刷されないボーダーを保持します。</li> <li>オン - プリンターは、物理用紙サイズいっぱいまでの印刷を行うことができます。</li> </ul> <p>注:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>トナーがプリンターを汚さないようにするため、平衡型印刷について EDGE-EDGE をオフに設定したままにするようお勧めします。オンを使用するのは、必要な場合のみにしてください。</li> <li>TWINAX セッテイメニュー項目 EDGE-EDGE は SCS データにのみ適用されます。IPDS データについてエッジからエッジまでの印刷を指定するには、IPDS メニューで EDGE-EDGE 項目を使用します。</li> </ol>
バッファァー・サイズ	1024* 256	<p>IPDS バッファァー・サイズをバイト単位で指定します。SCS バッファァー・サイズは常に 256 です。</p>
ポート・タイムアウト	nnn	<p>プリンターが、そのジョブに関してそれ以外のデータは受信しないと判断する前に、データを待つ秒数を指定します。次にプリンターは他の導入済み接続機構をチェックし、ジョブを待っている接続機構に切り替えます。有効範囲は 0 ~ 255 です。省略時値は 90 秒です。</p>

## COAX DSC/DSE メニュー

COAX DSC/DSE メニューは、プリンターが同軸接続機構を介する DSC/DSE データをどのように処理するかを定義する場合に使用します。次の表は、COAX DSC/DSE メニューから変更可能な設定値を示したものです。指定するオプションは、DSC/DSE モードにのみ適用されます。値の右側のアスタリスク (\*) は、出荷時設定の省略時値を示しています。COAX DSC/DSE メニューは、同軸ネットワーク・インターフェース・カードを取り付けてある場合にのみ表示されます。

注:

1. 新しい値を選択するには、メッセージ表示域にその値が表示されたときに設定キーを押します。メッセージ表示域に表示されている値にアスタリスク (\*) が付いている場合は、その値が現在アクティブであることを示します。
2. 同軸接続機構の構成方法について詳しくは、*IBM Network Printers: Twinax/Coax Configuration Guide* を参照してください。
3. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および 22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

COAX DSC/DSE メニュー項目	値	説明
イメージインサツ	オン* オフ	非 SCS モードでのオプションの印刷を選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オン<ul style="list-style-type: none"><li>- ローカル・コピーでの真の画面イメージ</li><li>- 非 SCS 印刷での真の画面イメージ</li><li>- ローカル・コピーでの不定様式印刷</li><li>- 非 SCS 印刷での不定様式印刷</li></ul></li><li>• オフ<ul style="list-style-type: none"><li>- ローカル・コピーでの空白行抑止</li><li>- 非 SCS 印刷での空白行抑止</li><li>- ローカル・コピーでの定様式印刷</li><li>- 非 SCS 印刷での定様式印刷</li></ul></li></ul>
CR AT MPP+1	オン* オフ	最大印刷位置 (MPP) に相対して復帰を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• オン - 改行は、復帰が MPP+1 で行われるときに行われます。次の印刷位置は、新しい行の最初の印刷位置 (現在行 + 1、列 1) となります。</li><li>• オフ - 改行は、復帰が MPP+1 で行われるときに行われません。次の印刷位置は、現在行の最初の印刷位置 (現在行、列 1) となります。</li></ul>

COAX DSC/DSE メニュー項目	値	説明
NL AT MPP+1	オン* オフ	<p>MPP+1 で改行が強制されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オン - 復帰に続き、MPP+1 で追加の改行が行われます。次の印刷位置は、新しい行の最初の印刷位置 (現在行 + 2、列 1) となります。</li> <li>オフ - 改行が MPP+1 で行われるときに、追加の改行は行われません。次の印刷位置は、次の最初の印刷位置 (現在行 + 1、列 1) となります。</li> </ul>
FF DATA	オン* オフ	<p>プリンターが現行ページをページ替えることを強制します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オン - 用紙送りコマンドが出されると、現行ページはページ替えされ、用紙は次のページの最初の行にインデックスされます。次の印刷位置は、次のページの最初の行の最初の印刷位置 (次の用紙、行 1、列 1) となります。</li> <li>オフ - 用紙送りコマンドが出されると、現行ページはページ替えされ、用紙は次のページの最初の行にインデックスされ、1 桁分スペースが送られます。次の印刷位置は、次のページの最初の行の最初の印刷位置プラス 1 (次の用紙、行 1、列 2) となります。</li> </ul>
FF LAST	オン* オフ	<p>印刷バッファの終わりで用紙送りコマンドが出されたときに、次の文字をどこに位置付けるかを決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オン - 印刷順序が完了した後、自動的に改行されます (次の用紙、行 2、列 1)。</li> <li>オフ - 印刷順序が完了した後、自動的な改行は抑止されます (次の用紙、行 1、列 1)。</li> </ul>
FF VALID	オフ* オン	<p>用紙送りコマンドの有効時期を決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オン - 用紙送りコマンドは、それが検出されたときに発効します。</li> <li>オフ - 用紙送りコマンドは、行の最初の印刷位置、または MPP+1 で検出されたときにのみ発効します。用紙送りは、他の位置ではブランクとして扱われます。</li> </ul>
オートキノウ	オフ* オン	<p>次の印刷位置が新しい行であるか、新しいページであるかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オン - 用紙送り (FF) が印刷順序の最後の文字である場合を除き、バッファの印刷の完了時に、印刷順序の終わりで用紙送りが自動的に実行されます。</li> <li>オフ - 用紙送り (FF)、改行 (NL)、または復帰 (CR) が印刷順序の最後の文字である場合を除き、バッファの印刷の完了時に、印刷順序の終わりで改行が自動的に実行されます。</li> </ul>

## マシンジョウホウメニュー

マシンジョウホウメニューは、プリンターのサプライ用品の使用量に関する情報を表示する場合に使用します。次の表は、マシンジョウホウメニューから実行可能な設定値を示したものです。

注:

1. 選択したメニュー項目に関連した処置を実行するには、設定キーを押します。
2. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

マシンジョウホウメニュー項目	説明
ページ・カウント	プリンターが印刷したページ数を表示します。
エラー・ログ	プリンターによって記録された最後の10のエラー・メッセージ、および各メッセージが発生したときのページ・カウントを表示します。値キーは、リストをスクロールする場合に使用します。プリンターの作動を停止させる一部の重大エラーを含む、すべてのエラー・メッセージが記録されるわけではないことに注意してください。
トナー・カウンター	トナー・カートリッジ・カウンターを表示します。 注: トナー・カートリッジを交換するつど、このカウンターをリセットするようお勧めします。カウンターを0にリセットするには、次のように行います。 <ol style="list-style-type: none"><li>1. 同時にシフト・キーと値キーを押します。</li><li>2. 設定キーを押します。</li></ol> 新しい値は、次回プリンターの電源を切ってから、再度電源を入れるまでは表示されません。
フューザー・カウンター	フューザー・カウンターを表示します。 注: 使用キットを交換するつど、このカウンターをリセットするようお勧めします。カウンターを0にリセットするには、次のように行います。 <ol style="list-style-type: none"><li>1. 同時にシフトキーと値キーを押します。</li><li>2. 設定キーを押します。</li></ol> 新しい値は、次回プリンターの電源を切ってから、再度電源を入れるまでは表示されません。

## ゲンゴメニュー

ゲンゴメニューは、プリンターが、操作パネルにメッセージおよびメニューを表示する場合に使用する言語を選択する場合に使用します。英語が出荷時設定の省略時値です。

注:

1. 言語を選択するには、メッセージ表示域にその言語の値が表示されたときに設定キーを押します。新しい値の隣にアスタリスク (\*) が表示され、その値が現在アクティブであることを示します。
2. メニューを操作するために操作パネルを使用する方法がわからない場合には、21ページの『操作パネルのキーの使用』および22ページの『メニューのナビゲート』を読んでから、作業を継続してください。

項目	説明
エイゴ* ドイツゴ フランスゴ スペインゴ イタリアゴ オランダゴ ブラジル・ポル デンマークゴ フィンランドゴ スウェーデンゴ ノルウェーゴ (カタカナ)	プリンターが操作パネルのメッセージおよびメニューに表示する言語を選択します。

